

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公表番号】特表 2019-513485 (P2019-513485A)
 【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-020
 【出願番号】特願 2018-554103 (P2018-554103)
 【国際特許分類】

A 4 7 G 27/02 (2006.01)

E 0 4 F 15/16 (2006.01)

【 F I 】

A 4 7 G 27/02 1 0 2

E 0 4 F 15/16 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

広幅床材及びモジュール式床材の両方に適用され得る汎用補強用バックキング層を有する床材の製造方法であって、前記方法は、

第 1 の方向に延びる一次バックキング基材と、前記一次バックキング基材中にタフティングされた複数の糸とを有するタフテッド布帛基材を提供する工程であって、前記一次バックキング基材は、表側及び前記表側の反対の位置にある裏側と、前記一次バックキング基材の前記裏側に位置する終端を有するステッチ部分を形成する各系の一部分と、各ステッチ部分の前記終端の間に存在する間隙空間とを有する、工程と、

アプリーケーターに対して相対的に前記タフテッド布帛基材を移動させる工程と、

接着剤及び補強用繊維を有するプールを提供する工程と、

前記一次バックキング基材の前記裏側に向かう第 2 の方向に前記接着剤及び補強用繊維のプールを移動させるために、前記アプリーケーターと前記タフテッド布帛基材の間に制御された様式で圧力を印加する工程と、

前記系の前記ステッチ部分と前記アプリーケーターの間の空間に前記補強用繊維を主として前記第 1 の方向に横たえるように整列させ、前記補強用繊維が前記第 1 の方向と実質的に平行な繊維補強層を形成することとなるように前記接着剤を前記補強用繊維から分離し、前記繊維補強層と前記一次バックキング基材の間に接着剤層を形成する工程と、

前記繊維補強層と前記一次バックキング基材の間の前記接着剤層の前記形成を助けるために真空を印加する工程と、

前記接着剤及び前記繊維補強層を硬化する工程とを含む、方法。

【請求項 2】

前記接着剤を前記補強用繊維から分離する前に前記接着剤及び補強用繊維のプールを混合することを更に含む、請求項 1 に記載の床材の製造方法。

【請求項 3】

前記繊維を主として前記第 1 の方向に横たえるように整列させる前に前記接着剤及び補強用繊維のプールを混合することを更に含む、請求項 1 に記載の床材の製造方法。

【請求項 4】

前記接着剤を前記補強用繊維から分離する前に前記接着剤及び補強用繊維のプールに空気を注入することを更に含む、請求項1に記載の床材の製造方法。

【請求項 5】

前記繊維を主として前記第 1 の方向に横たえるように整列させる前に前記接着剤及び補強用繊維のプールに空気を注入する、請求項1に記載の床材の製造方法。

【請求項 6】

広幅床材又はモジュール式床材のいずれに使用するかに応じて、前記床材を選択的に切断することを更に含む、請求項 1 に記載の床材の製造方法。